

## 第2回専門領域推進部内部障がい理学療法領域症例検討会 活動報告書

日時：令和5年8月17日（木） 18:30～20:00

形式：オンライン開催（Zoom）

内容：症例検討

### 1. 入退院を繰り返すうっ血性心不全患者についての検討

発表者：平山慎也（山形県立新庄病院） 座長：鈴木孝氏（篠田総合病院）

### 2. 息切れの要因と動作効率に着目した CABG 術後症例

発表者：本間豪（日本海総合病院） 座長：大森允（山形大学医学部附属病院）

参加人数：第一席；49名 第二席；45名

内容の詳細

第一席：短期間で再発を繰り返してしまう心不全症例の、再発予防向けの取り組みを中心に検討がなされた。座長の誘導により、再発してしまう原因について、指導内容の妥当性や患者側の理解度についても確認がされた。参加者からも自宅での運動指導や食事・活動量のモニタリング方法等の提示があった。現在も介入中の患者であり、患者の生活状況のさらなる評価の必要性を認識でき、発表者が今後の介入に活かせる内容となった。

第二席：術後心不全を合併した症例の「息切れ」に着目し、検査所見や身体所見の推移、姿勢・動作分析から息切れの原因に対するの考察の一案が発表者より示された。参加者からは、術後の経過についての質問や、呼吸パターンや周術期の呼吸指導についての意見が寄せられた。内容には発表者からのレクチャーも含まれており、参加者全体が息切れの背景を考える機会となった。

今回は2例ともに心疾患を有する症例であり、急性期の全身状態の変化への対応や、退院後の再発予防に向けた取り組みについての内容が含まれていた。普段循環器疾患に関わる機会が少ない参加者にも、介入の実際をイメージしやすい内容となったと考える。次回も症例検討会を通して、内部障がいの多様な疾患とその症状に対するの介入経験を共有・議論する場を提供する。

文責 黒坂浩平